

質問5. 「加美町総合計画」（計画期間：平成17年度～平成26年度）の6つの政策体系について

「Ⅰ. 自然と共生する地球にやさしいまち」について

「Ⅱ. 健やかで元気あふれるまち」について

※ 「Ⅲ. 安全で快適に暮らせるまち」について

(6) インフラ整備、危機管理体制の見直し等の取組についての満足度

(7) 震災時における町の対応について

(8) 自然災害が発生した場合どのような対応を期待するか

「Ⅳ. 魅力・やりがいでのぎわいのあるまち」について

「Ⅴ. だれもが楽しく学べるまち」について

「Ⅵ. 住民と行政の協働による自立するまち」について

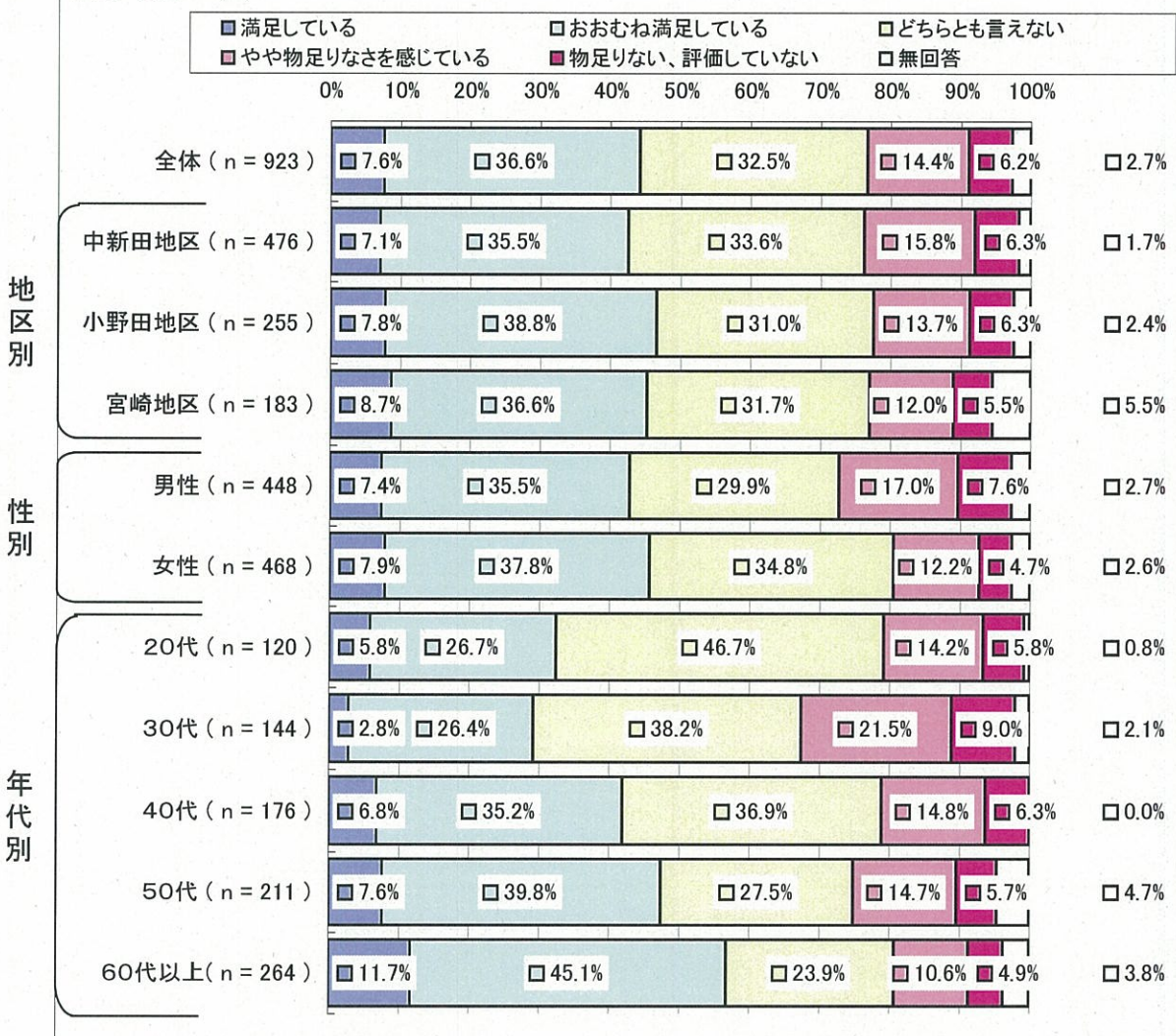
「Ⅲ. 安全で快適に暮らせるまち」について

(6) 町では、これまでに防火水槽の設置、下水道・浄化槽・道路・公園・公営住宅等のインフラ整備、住民バス等の交通体系の確立、住宅リフォーム助成などを実施してきました。また、これまでの防災計画並びに危機管理体制の見直しにも着手しています。これらの取組についてどのように感じていますか？

全体 (n = 923)

	満足している	おおむね満足している	どちらとも言えない	やや物足りなさを感じている	物足りない、評価していない	無回答	計
回答数(人)	70	338	300	133	57	25	923
割合	7.6%	36.6%	32.5%	14.4%	6.2%	2.7%	100.0%

図表 質問5. (6)



【全体集計】では、「おおむね満足している」と回答した人36.6%と最も多く、最も少ないのは「物足りない、評価していない」の6.2%でした。「満足している」「おおむね満足している」と回答した人は合わせて44.2%で、「やや物足りなさを感じている」「物足りない、評価していない」と回答した人を合わせた20.6%より23.6%上回りました。

【地区別集計】では、「満足している」「おおむね満足している」と回答した人を合わせると、中新田地区42.6%、小野田地区46.6%、宮崎地区45.3%で、「やや物足りなさを感じている」「物足りない、評価していない」と回答した人を合わせると、中新田地区22.1%、小野田地区20.0%、宮崎地区17.5%でした。

【性別集計】では、「満足している」「おおむね満足している」と回答した人を合わせると、男性は42.9%、女性は45.7%、「やや物足りなさを感じている」「物足りない、評価していない」と回答した人を合わせると、男性は24.6%、女性は16.9%でした。

【年代別集計】では、「満足している」「おおむね満足している」と回答した人を合わせると最も多い年代は、60代以上の56.8%、次いで、50代の47.4%、40代の42.0%、20代の32.5%、30代の29.2%でした。「やや物足りなさを感じている」「物足りない、評価していない」と回答した人を合わせると最も多い年代は、30代の30.5%、次いで、40代の21.1%、20代の20.0%、50代の19.9%、60代以上の15.5%でした。

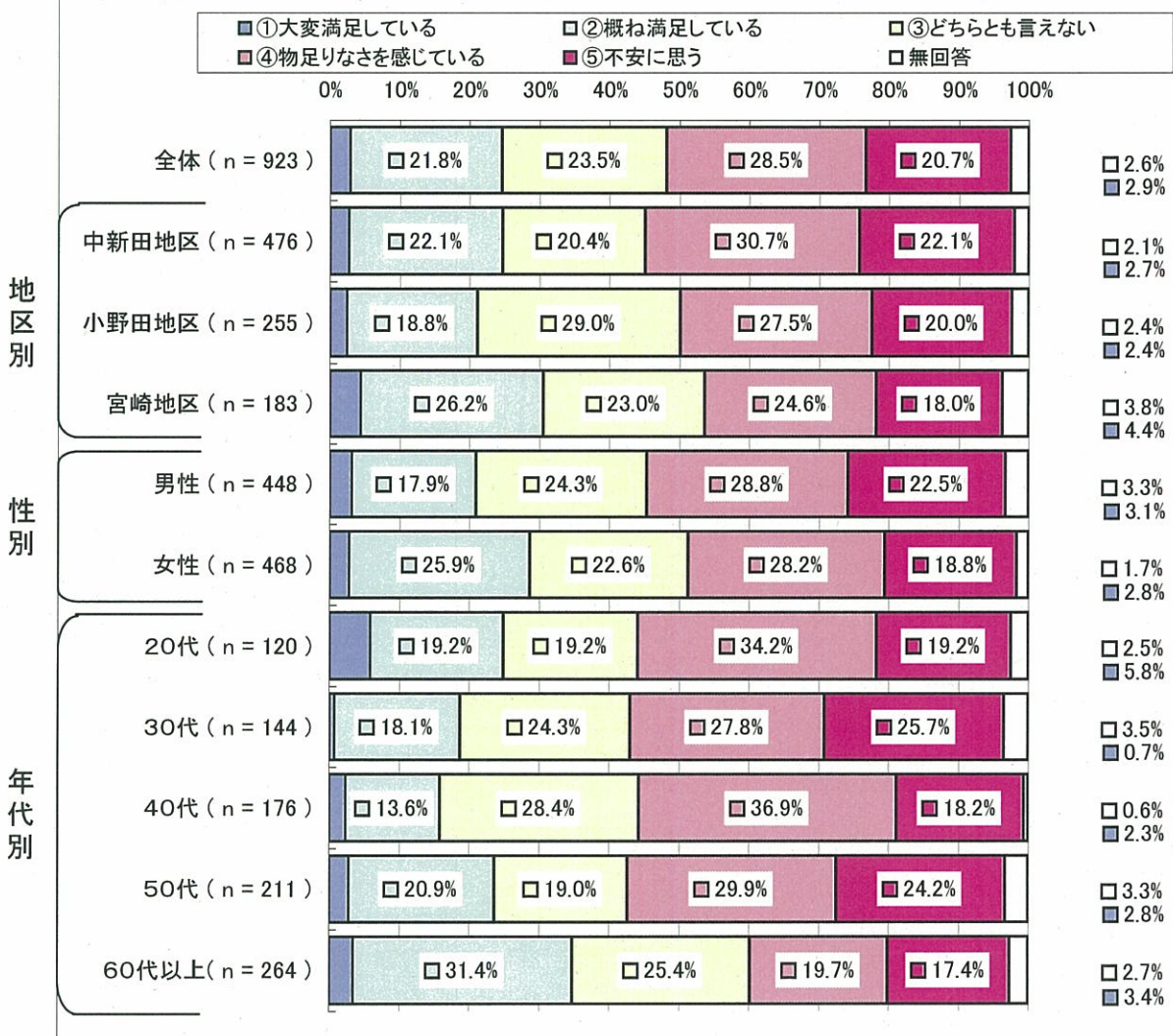
「Ⅲ. 安全で快適に暮らせるまち」について

(7) 東日本大震災により、本町も家屋の損壊や町内全戸において停電する等の被害を受けました。震災における町の対応について、あなたはどのように感じましたか？

全体 (n = 923)

	①大変満足している	②おおむね満足している	③どちらとも言えない	④物足りなさを感じている	⑤不安に思う	無回答	計
回答数(人)	27	201	217	263	191	24	923
割合	2.9%	21.8%	23.5%	28.5%	20.7%	2.6%	100.0%

図表 質問5. (7)



【全体集計】では、「④物足りなさを感じている」と回答した人が23.5%と最も多く、最も少ないのは「①大変満足している」の2.9%でした。「①大変満足している」「おおむね満足している」と回答した方は合わせて24.7%で、「④物足りなさを感じている」「⑤不安に思う」と回答した方を合わせた49.2%より24.5%下回りました。

【地区別集計】では、「①大変満足している」「②おおむね満足している」と回答した人を合わせると、中新田地区24.8%、小野田地区21.2%、宮崎地区30.6%でした。「④物足りなさを感じている」「⑤不安に思う」と回答した人を合わせると、中新田地区52.8%、小野田地区47.5%、宮崎地区42.6%で、すべての地区において「①大変満足している」「②おおむね満足している」よりも上回っています。

【性別集計】では、「①満足している」「おおむね満足している」と回答した人を合わせると、男性は21.0%、女性は28.7%、「④物足りなさを感じている」「⑤不安に思う」と回答した人を合わせると、男性は51.3%、女性は47.0%でした。

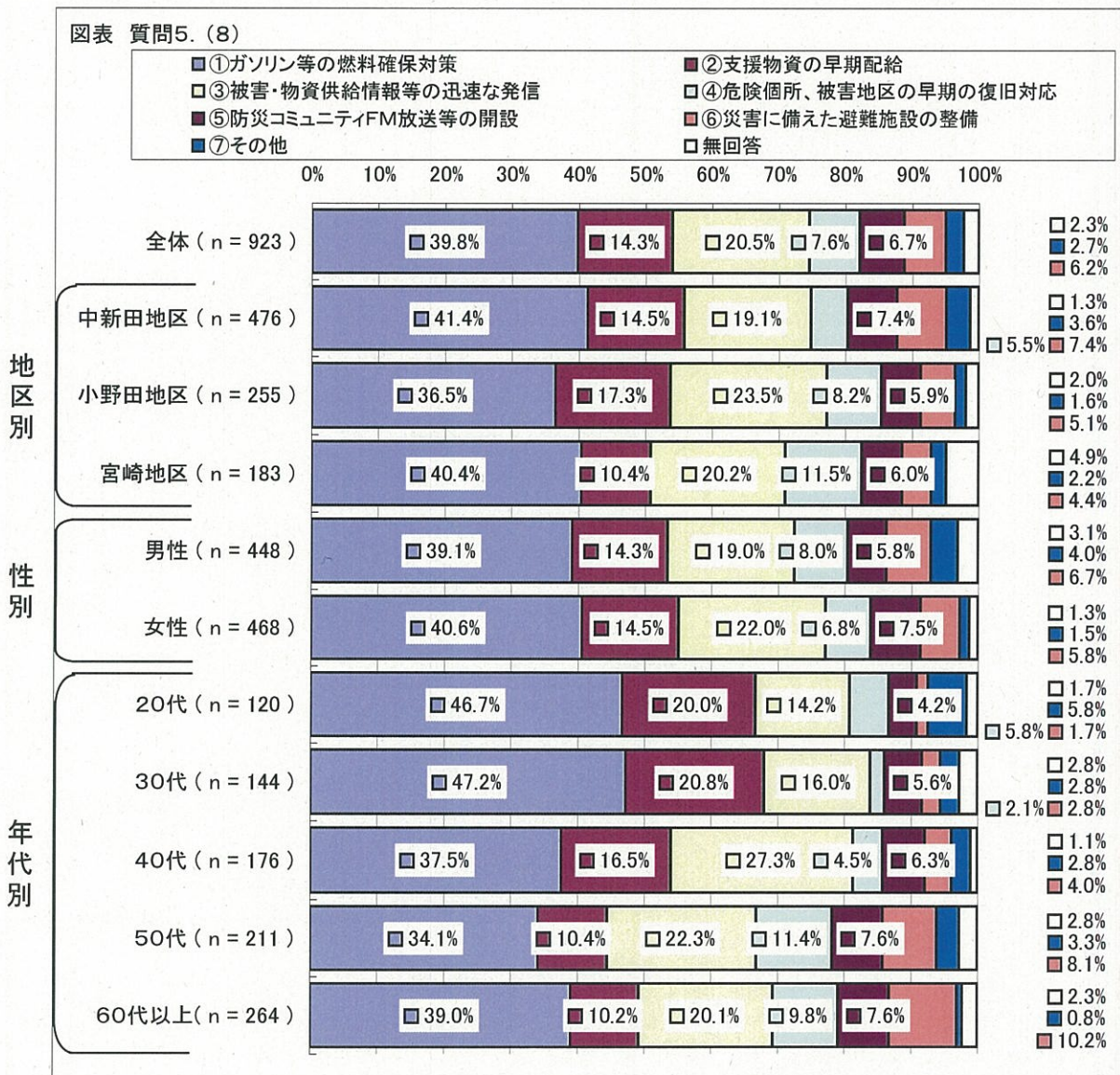
【年代別集計】では、「①大変満足している」「②おおむね満足している」と回答した人を合わせると最も多い年代は、60代以上の34.8%、次いで、20代の25.0%、50代の23.7%、30代の18.8%、最も低いのは40代の13.6%でした。「④物足りなさを感じている」「⑤不安に思う」と回答した人を合わせると最も多い年代は、40代の55.1%、次いで、50代の54.1%、30代の53.5%、20代の53.4%、60代以上の37.1%で、60代以上の年代以外で50%以上超えています。

「Ⅲ. 安全で快適に暮らせるまち」について

(8) 今後、自然災害等が発生した場合、あなたは町に対して、どのような対応をのぞみますか？

全体 (n = 923)

	①ガソリン等の燃料確保対策	②支援物資の早期配給	③被害・物資供給情報等の迅速な発信	④危険個所、被害地区の早期の復旧対応	⑤防災コミュニティFM放送等の開設	⑥災害に備えた避難施設の整備	⑦その他	無回答	計
回答数(人)	367	132	189	70	62	57	25	21	923
割合	39.8%	14.3%	20.5%	7.6%	6.7%	6.2%	2.7%	2.3%	100.0%



【全体集計】では、「①ガソリン等の燃料確保対策」が39.8%で最も多く、次いで「③被害・物資供給情報等の迅速な発信」の20.5%、「②支援物資の早期配給」の14.3%でした。その他では「広報車の有効活用」「無線等を利用した通信手段の確保」が挙げられています。

【地区別集計】では、3地区とも「①ガソリン等の燃料確保対策」が最も多く、中新田地区は41.4%、小野田地区は36.5%、宮崎地区40.4%、次いで多いのは「③被害・物資供給情報等の迅速な発信」は中新田地区は19.1%、小野田地区は23.5%、宮崎地区は20.2%、「②支援物資の早期配給」中新田地区は14.5%、小野田地区は17.3%、宮崎地区は10.4%でした。

【性別集計】で最も多い回答は、「①ガソリン等の燃料確保対策」で男性39.1%、女性40.6%、次いで「③被害・物資供給情報等の迅速な発信」で男性19.0%、女性22.0%、「②支援物資の早期配給」で男性14.3%、女性14.5%でした。

【年代別集計】では、「①ガソリン等の燃料確保対策」で、20代は46.7%、30代は47.2%、40代は37.5%、50代は34.1%、60代以上は39.0%と各年代を通して一番多い回答でした。20代は「②支援物資の早期配給」が(20.0%)、次いで「③被害・物資供給情報等の迅速な発信」(14.2%)、30代は「②支援物資の早期配給」(20.8%)、次いで「③被害・物資の迅速な発信」(16.0%)、40代は「③被害・物資の迅速な発信」(27.3%)、次いで「②支援物資の早期配給」(16.5%)、50代は「③被害・物資の迅速な発信」(22.3%)、次いで「④危険個所、被害地区の早期の復旧対応」(11.4%)、60代以上は「③被害・物資の迅速な発信」(20.1%)、次いで「②支援物資の早期配給」(10.2%)でした。

